

# Yumeken

# 春

2022 Vol.695

◆特集○話題の焦点

事例に見る建設業の働き方改革

◆夢インタビュー

やりたいことを表現できる場所  
地域の人が立ち寄れる場所づくりを目的に

◆行ってみよう

しゃくなげ学校(旧鎌掛小学校)

◆おじゃまします

株式会社橋本建設



# 事例に見る建設業の働き方改革

建設業では人手不足の解消や長時間労働の改善が大きな課題となるなか、2024年4月からは罰則付きの時間外労働の上限規制が適用されます。

2020年の毎月勤労統計調査(厚生労働省)によると、建設業の月間総実労働時間は164.7時間で、全産業平均より30時間以上長く、週休2日制の実施についても十分ではないことがわかっています。

休みが少なく残業が多いことが、若者が建設業を敬遠する大きな要因となっていることから、それぞれの建設会社では業務の効率化や制度改革を進め、さらには充実感や達成感を感じられる仕組みづくりなどを行って、なんとか働き方改革を進めようとしています。

今回は滋賀県建設業協会の会員企業の取り組みをレポートしました。



一人で作業できるドローン測量の導入で業務が効率化した。

グループ会社もあつて、市販のソフトでは対応できないことも多いため、人事管理や支払管理、砕石業務管理といった自社システムの構築にも努めてきました。あらゆるシステムでCSV出力を利用し、そのデータを別システムへ活用するなど、入力省力化を図っています。

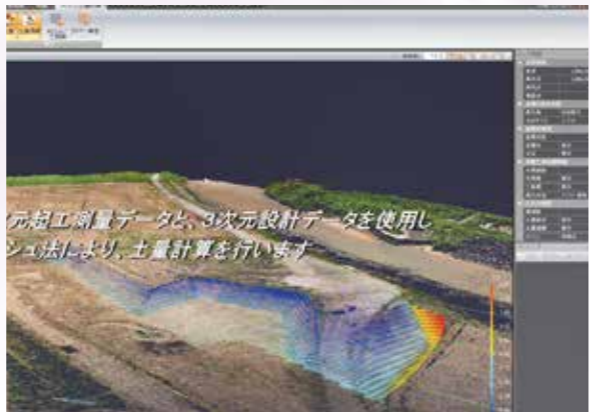
2カ所のプラントでは生コン会社などへの出荷もあるため、窓口を6時半から開けていますが、無人計量器を新設することで早朝及び昼休みの出荷を無人化し、通常時モ



「人事評価の見える化を進めていきたい」と語る向 春美社長。



プラントに無人計量器を設置して窓口業務の負担を軽減した。



画像解析ソフトで測量の翌日には土量確認を行うことができる。

### 事例① 株式会社 向茂組

#### 部署ごとにさまざまな業務効率化に取り組む

株式会社 向茂組では新しいシステムや建設機器を導入し、部署ごとにさまざまな取り組みを進めることで、残業時間の軽減に取り組んできました。

「かつて工事部では、現場の仕事を終えてから会社に戻って遅くまで残業することが珍しくなかったが、今は遅くまで残業する社員はほとんどいません」と言う向 春美社長。さまざまな建設機器を導入して作業の効率

化を図ったことが大きな要因になっています。例えば以前なら数日かかって測量を行い、そのデータを入力して土量計算を行っていましたが、現在はドローンで撮影した画像から、画像解析ソフトによって測量データを自動で作成し、翌日出社後に土量確認を行っています。

自動追尾光波・杭ナビの導入によって測量作業が一人で行えるようになり、現場監督が管理業務だけに専念できるようになると、昼間に書類を作成できるようになりました。さらに工事写真を電子化したことで、印刷・付箋・ファイリング作業が不要になったほか、安全書類等の添付書類をクラウドで管理することで、確認のために本社に戻ってくる手間が省けるようになりました。

また、総務部の主な取り組みとして、お客様に記載していただく書類をホームページからダウンロードできるようにしたほか、安全費などの領収書をメール送信にすることで、FAX送信や郵送業務の省力化を図りました。プラントや各事務拠点をVPNでつなぎ、本社以外でも最新版の共通書類が利用できるようにして、書類作成業務を軽減しました。



苺とホワイトチョコのタルト



春色レアチーズタルト



冷蔵庫で3~4時間解凍すればちょうど食べ頃に

ですが、一般ユーザー向けに店舗を開くにはコストや人手がかかるため、他によい方法はないかと考えていた時に自販機を思いついたという大林さん。あちこち探してようやく条件に合った自販機を見つけたそうですが、全国でも冷凍ケーキはごく一部で販売されているだけでした。

ホテルでパティシエとして働いていた大林さんが、冷凍ケーキを飲食店向けに販売する事業を始めたのは、売れ残ったスイーツが捨てられてしまつことを残念に思ったから。冷凍にすることで長期保存ができて、必要なだけ解凍することで食品ロスを大幅に削減できます。

大林さんは、冷凍↓解凍しても美味しさや食感が変わらないよう工夫を重ねてきましたが、その技術や経験を一般ユーザー向けの商品にすぐに活かすことができ、購入者からは「冷凍とは思えない手づくりの美味しさ」と評判になっています。

チーズをふんだんに使った、ハイキドチーズケーキや、コーヒーに合うロールケーキといった定番商品のほかに、苺とホワイトチョコのタルトや焦がしメープルミルクレープなど季節限定商品も、2個



家庭の冷凍庫でも保存できるの買い置きも可能

株式会社Papa-Lab  
 ●草津市渋川2丁目7-27  
 ●077-598-6232  
 ●自動販売機は24時間営業

入りで500円と価格もリーズナブルに設定されていて、本格的なスイーツをいつでも気軽に楽しめるのが魅力です。



## 湖国 街かどウォッチング

新しい施設や街の話題をレポートするコーナーです。

# スイーツ工房 Papa-Lab 『ケーキの自動販売機』(草津市)

## CONTENTS

湖国街かどウォッチング……………	2
スイーツ工房 Papa-Lab 『ケーキの自動販売機』(草津市) 特集・話題の焦点……………	3
事例に見る建設業の働き方改革……………	6
行ってみよう……………	6
しゃくなげ学校(旧鎌掛小学校) おじやまします……………	8
株式会社橋本建設 絵画コンクール入賞作品……………	10
夢インタビュ……………	13
やりたいことを表現できる場所 地域の人々が立ち寄れる場所づくりを目的に TERAMACHI BASE 発起人 藤原 周二さん 夢けんひろは……………	14
夢けんTOPICS……………	16
ビジネス最前線……………	17
あいのまち合同会社 『i・mart』……………	17
「仕事の達人・遊びの達人」…… スポーツに親しんだ学生時代 今ほジョギングでストレス解消 山田 幸弘さん クイズ……………	18
取材てはれ話……………	19
読者の声 編集後記……………	19
表紙写真……………	19
「はんはれ」ナルドサー 五十嵐 朱理	
「はたらく」シベルカール 新庄 光晴	
「なんでも」重藤 中野 陽菜	
「真正面から」うきみこ 石田 一穂	
「未来の平和の塔」塔之浦 紀雄	
「働く」恐竜ロボの工事 梅田 大輔	
「能登川水車」寺島 聡史	
「田上山ではたらく」機屋 浅田 通	
「ハワ」シヘル 園林 優翔	
「八幡地」木原 佳苗	
「田んぼに咲いた」太田 坊宮 白井 ひなた	
「又高園のお茶屋」さん 若林 彩香	



2022 Vol.695 春

量を分散させることによりフロント計量の負担も減らしました。さらに、フロントの計量データを本社で閲覧できるように改良したことで、お客様からの問い合わせに本社でも対応できるようになりました。

### 人材育成の鍵を握る人事評価の見える化

人事評価の見える化を進めるため、同社は滋賀県のサポートプロジェクトでアドバイザー派遣を受けて、管理職予備層研修を実施しました。「社員は自分たちのどこをどう評価してほしいかを知りたいかを知るため、オンラインではなくワークショップ形式などで個々の社員の意見を吸い上げたいと、まず核となる管理職予備層の研修を実施した」と向社長。

一人ひとりの能力に合った配置（仕事の与え方）をすることで、個々の社員の成長を図りたいというのが人材育成に対する基本的なスタンスで、そのためにはリーダーや管理職の育成が不可欠になります。人事評価については、部署が多いため部署ごとの評価制度が必要になることから、取り組みやすい簡単な評価から始めていきたいと、向社長は考えています。

「ペーパーレスにして業務が減るものと減らないものを識別、業務改善につながるものは積極的にペーパーレスを実施したい。新しいサービスやシステムをすぐ試して導入を検討する社風があるので、今後も積極的に取り組んでいきたい」と向社長。業務改善につながる機器やシステムは今後も積極的に導入していく予定です。



工事主任の佐山さんと、入社3年の岡本さん。同社では社員の家族を対象にした現場見学会を休日に行うこともある。

今後は試験前勉強会に可能な限り参加して、1級土木施工管理技士取得を目指して頑張りたいです。経験を積み、仕事の幅を広げて、現場を任せられるようになるのが目標です。

### 事例③ 株式会社大兼工務店

#### すべての社員が取り組み続ける仕組みづくりが鍵を握る

2014年頃から女性社員を増やすことを目標に、トイレや更衣室の整備をスタートして、さまざまな社内改革に取り組んできた株式会社大兼工務店。改革に取り組んできた常務取締役の宮本正和さんは、「女性が働きやすい環境に変えていくことで、男性中心の建設業の働き方を恒常的に変えていけるのではないかと考えた」と目的について説明します。

建設業が未経験でもやりがいを感じられるようにと、中途採用の社員には前職のキャリアやスキルが活かせるように工夫するなど、

### 事例② 有限会社 竜王興産

#### 未経験女性でも現場技術者に積極的に採用

創業以来「すべては人であり、縁ありて経営となる」を理念とし、「御縁があつて当社に入社してくれる社員を大切にしたい」と語る竹島慎泰社長。「会社の発展のためには若手社員の採用が不可欠。意欲があれば未経験でも、男女問わずしっかり育てていきたいと考えてきた」と、更衣室など社内や現場の環境整備に取り組み、未経験でも仕事をしながら学べるようベテラン社員の下に配属したり、資格取得を奨励して社内勉強会を開くなどしてきました。

最初は初めて現場に女性が入ることに不安もあったのですが、女性が増えたことで社内の雰囲気も明るくなり、社員同士のコミュニケーションが活発になったことで、「相手手を思いやる」「助け合う」といった風土が育ってきたと竹島社長は高く評価しています。

会社を立ち上げて間もない頃は、せっかく採用しても仕事を覚えたらすぐに辞める社員が多く、どうしても離職がなくなるか悩んだ末、家族のように社員一人一人を見て、人を育てていくようにしたところ、社員が定着す



現場に設置された女性専用トイレ

#### 働き方改革の主な取り組み

- 1. タイマーをセットして会議を行う。**  
「仕事に時間をつけるのではなく、時間に仕事をつける」という考え方で、終了時間になったら結論が出ていなくても会議を終える。
- 2. 残業の自己申告制と見える化**  
仕事に合わせて残業をするのではなく、申告した時間までに終わるように仕事をする。
- 3. 職場環境整備（整理・整頓・清潔）の徹底**  
徹底的に不要なものを洗い出して業務に必要なものだけを残し、どこに何を置くかすべての物品においてルールづけたことで、モノを探す時間をなくした。社内だけでなく現場でもこれを徹底、月に一度の点検で整理整頓が守られているかをチェックしている。
- 4. ワークフローによるスピード決済**  
全社員にiPadを配布して紙の稟議書を廃止、申請・承認・決済をオンラインで行うことでスピード決済を可能にした。
- 5. スマホやiPadを使った勤怠管理**  
入社、退社をどこからでも打刻でき、残業時間の集計など勤怠管理を効率化した。
- 6. コミュニケーションツールSlackの活用**  
ビジネスチャットツールを活用して、現場から逐次状況を報告、社員間で確認できるようにしたほか、お客様との情報共有にも活用できるようにした。
- 7. リモート会議**  
新型コロナウイルス流行前に導入されたリモート会議システムにより、どこにいても会議に参加できるようになった。
- 8. 環境整備を定着させるための実行計画書**  
社員を12グループに分け、半期ごとにそれぞれ整理・整頓・清潔を維持するための実行計画を作成して達成状況を点数化し、目標達成したチームに食事券などを贈るようにした。
- 9. 人間教育の重視**
  - 月刊誌『致知』をテキストに、人間学を学び良き社風づくりを目指す社内勉強会「木鶏会」を2012年から毎月開催。
  - ゲームを通じて経営の実践を疑似体験する研修「だいかねMG道場」
  - 社員は全員入社1年目に「ほめ達検定3級」を取得
  - 学校や公共施設のトイレ掃除を通して心を磨く「滋賀掃除に学ぶ会」の活動に参加
  - 6つの社内委員会が、会社の改善や地域貢献をテーマに活動



「女性の活躍で社内が明るくなった」と言う竹島慎泰社長。

るようになりました。継続的に採用を行い、20代、30代の社員が多いことも、若手社員が定着する要因の一つになっています。「社員は家族」という社風を大切にしている同社では、社員の誕生日を祝ったり、クリスマスなどのイベントに会社からプレゼントを用意することも恒例となっています。

また、長時間勤務をなくし働きやすい職場を実現するため、ICT化を進め、新しい技術をどんどん取り入れて業務の効率化を進めています。「夢は女性だけの解体チームをつくること」と語る竹島社長。女性が現場で活躍する姿をSNSなどで積極的に発信していきたい。「女性が活躍できる会社」「女性がやりがいをもつて働ける会社」であることをアピールしていきたいと考えています。

平成30年に経済産業省の「地域未来牽引企業」に選定された同社。女性社員の活用で、さらに高い付加価値を創出できるような企業を目指しています。



現場には女性専用更衣室も設置されている。

#### 意欲があればさまざまな経験ができる職場です。

工事主任 佐山美奈子さん 入社7年  
建設業は男性の世界というイメージがありましたが入った限りはいろいろなことにチャレンジしたいと思うようになりました。この会社では女性でも意欲があれば、それに応えてもらって、いろいろな仕事を経験することができます。私も基本は内勤ですが、今は現場監督として仕事を任されています。

子どもが急に病気になった時には、まわりにいる社員がフォローするような社風があるので、子育て中の女性も安心して働けると思います。また、資格取得をバックアップする制度があり、先輩社員が講師を務めて試験前に勉強会を開いたりしています。私も1級土木施工管理技士資格を取得しました。次はコンクリート技士の資格試験に挑戦してみたいと思っています。

#### 経験を積み仕事の幅を広げ、目標は現場を任せられること

岡本彩さん 入社3年  
建設業はまったくの未経験で、初めは右も左もわからないし、専門用語もまったくわからなくて苦労しましたが、ようやく仕事の段取りなどが読めるようになりました。上司や先輩が、できるだけ経験を積めるよう、男性社員と差をつけられないようにと配慮していろいろな仕事をさせてもらったおかげだと感謝しています。今はまだ子どもが小さいので、保育園に送ってからお社にいますが、夕方になるとまわりの人たちにお迎えの心配をもらうなど、女性が働くことにとっても理解のある職場です。



「働き方改革には制度や手法ではなく仕組みづくりが必要」と語る宮本正和常務取締役。

「『働き方改革は単に休日を増やしたり、給与を上げるというのではなく、それを現実にできるような仕組みづくりを促すような仕組

日制にできるのではないかと」と宮本さんは考えています。さらに同社が目指したのは「首都圏並みの給与」と休日の拡充で、若い世代にも首都圏並みの年収を実現、3年計画で完全週休2日制を導入するなど休日は年間128日に、さらに1時間単位の有給休暇やフレックスタイム制も採用して多様な働き方ができるようにしました。「働き方改革は単に休日を増やしたり、給与を上げるというのではなく、それを現実にできるような利益を上げていくにはどうすればいいか、会社が目指す方向性や社員がすべきことを根本から見直し、社内環境整備や業務の効率化、自動化の推進、愛社精神を高め、自己成長を促すような仕組

物を探す時間の無駄をなくすることができました。その状態を維持するために、毎月全部署のチェックを行うほか、部署ごとに環境整備の実行計画を策定して、社員全員で整理整頓清潔に取り組んでいます。「働き方改革は制度を作ったら終わりではない。社員一人一人が持っている力を最大限に発揮していきたいと働き、自己成長を目指してつねにチャレンジできるような活気ある職場であるために、ずっと取り組み続けることが大切になる」と宮本さんは提言します。



誰でも同じ場所に戻せるよう戻す場所を明示する二定管理を実践、モノを捜さなくてよいようになった。



各グループごとに実行計画書を作成して、実行できたかどうかを評価する。



木鶏会やMG研修などさまざまな研修を通して人材育成をやり続けている。

蒲生郡日野町

しゃくなげ学校  
(旧鎌掛小学校)



昭和5年に建てられた木造校舎、正面奥は体育館

レトロな校舎が  
人気アニメのモデルにも

明治7年に明誼小学校として開校、明治20年に尋常科鎌掛小学校となり、以来たくさんの卒業生が巣立っていきましたが、児童数の減少により平成13年に廃校になりました。その後、NPO法人蒲生野考現倶楽部が日野町から借り受けて、地域の方々と協力しながら改修工事を行い、平成15年に「しゃくなげ学校」として再スタートしました。

蒲生野考現倶楽部は、身近な水環境や里山の環境調査や交流事業、体験型の環境学習会などを行っていることから、



木製の靴箱のある玄関ホール



天井の造作なども手の込んだ校長室



給食サンプルが並べられた給食室



畳敷きの家庭室

江戸時代には御代参街道の宿場町として栄え、多くの日野商人を輩出した日野町には、昔ながらの商家の街並みのほか、訪れたいスポットが点在しています。昭和初期に建てられた小学校の木造校舎を活用した「しゃくなげ学校」では、農業体験や「里山の自然」展示などの環境学習が行われています。また、人気アニメの聖地として遠くからもファンが訪れるようになり、土日祝日は一般に解放しています。



コンサートなどに利用されることもある体育館

- 開校時間 土日祝日 10:00~16:00
- アクセス 近江鉄道本線 日野駅  
レンタサイクルかタクシー利用
- 維持管理協力金 300円
- 〒529-1631 滋賀県蒲生郡日野町鎌掛2362  
TEL: 090-1029-8262  
(NPO法人蒲生野考現倶楽部)
- <https://kougenclub.shiga-saku.net>

唱団などが出演する『蛸ほのぼのコンサート』が開かれています。  
平成24年には、テレビアニメ「中二病でも恋したい!」の放映が始まると、舞台モデルになった学校として評判になり、アニメファンがたくさん訪れるようになりました。木造校舎の2階には「アニメファンの部屋」も設けられています。  
ほかにNHK連続テレビ小説「スカーレット」などのテレビドラマや映画の撮影地としてたびたび使用されています。



アニメファンの部屋



日野町観光情報

しゃくなげ溪  
(鎌掛谷ホンシャクナゲ群落)

日野町鎌掛の耶麻岨川溪谷の斜面には、滋賀県の郷土の花魁花として知られるホンシャクナゲの群落地が広がっています。普通は標高800~1000メートルの高所に自生するシャクナゲが、標高300~400メートルの低地に群生するのは大変めずらしく、昭和6年に国の天然記念物に指定されました。開花時期は4月下旬から5月上旬で、ゴールデンウィークには大勢の見物客で賑わいます。

駐車場から群落地までは片道約1.6km。耶麻岨川沿いに遊歩道が整備されていて、新緑を楽しみながら木立の間をぬって歩いていくと、カーネーション椿や紅ドウダンツツジ、イワカガミなどを見つけれられるかもしれません。

しゃくなげ溪の近くには藤の寺として有名な『正法寺』や、ボタンとシャクヤクが開花期を迎える『日野ダリア園』もあるので、立ち寄ってみるのもお勧めです。

- \*遊歩道は未舗装の自然道のため、歩きやすい靴・服装で出かけましょう。
- \*開花情報は日野観光協会のホームページで確認できます。  
<https://www.hino-kanko.jp/category/topics/flower/>
- \*シャクナゲは花の多い年と少ない年があります。



- 保全協力金 大人400円、小学生200円
- アクセス 近江鉄道日野駅から鎌掛行バス終点下車。徒歩約40分。(鎌掛行バスは日・祝日運休)  
名神八日市IC~一般道(約25分)  
名神蒲生SIC~一般道(約25分)  
新名神甲賀土山IC~一般道(約20分)

日野まちかど感応館  
(旧正野玄三薬店)

棧敷窓のある商家が並ぶ昔ながらの日野の街並みの中にある『日野まちかど感応館』は、江戸時代中期に建てられた薬店の店舗と蔵を活かした観光情報発信基地。資料の展示コーナーやギャラリーのほか、日野観光協会の事務所があり、散策途中で立ち寄って休憩したり、日野町の観光情報を集めたりするのに便利な施設です。新館の軽食コーナー『みかく』では、日野米のにぎり飯をはじめ地産地消の惣菜やランチセットも販売しています。



- 開館時間 9:00~17:00
- 休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始
- 〒529-1604 滋賀県蒲生郡日野町村井1284番地
- TEL: 0748-52-6577 ●<https://www.hino-kanko.jp>



廊下には古い農具も展示されている。

# 安心安全なまちづくりを通して 目指す持続可能な社会

## 株式会社橋本建設

彦根市野口町283-1

代表取締役社長 橋本 健一



本社社屋



創業時の様子  
創業者が配達などを行っていた



観音坂トンネル（長浜市石田町～米原市朝日）施工の様子



法面整備工事（兵庫県三田市）

### 情報発信や採用を担う 広報・企画室を開設

建設業をメインに土木工事業、不動産業など、幅広く事業を展開してきた株式会社橋本建設は、昨年、創業50周年を迎えました。2019年に代表取締役役に就任した橋本健一社長は、外部委託ではなく、SNSを活用した情報発信や人材採用を社内で行うため、新たに専任の若手社員を雇用して広報・企画室を開設しました。

「年齢が近いことで学生や若者の気持ちの理解ができるし、先輩社員がいきいきと活躍している姿を見せることで、自分が働く姿をイメージできるなど、若手社員が採用を担うことのメリットは大きい」と橋本社長。若い人に関心を持って見てもらえらるようにと、ウェブサイトをスマホ向けにリニューアルして、



インターンシップなど若者の考えに接するのは会社にとっても貴重な機会」と言う橋本社長。

その結果、毎年2〜3人の新卒を採用できるようになったほか、広報・企画室を中心に50周年記念誌を社内で作成するなど、社内のモチベーションアップにもつながるなど成果が現れています。

### 人口減少の中、 担い手の育成が課題

働き方改革にも熱心に取り組む同社では、短時間正社員制度を導入して子育てなどをサポートするほか、ものづくり補助金を活用してICTの導入に力を入れ、生産性の向上に取り組んできました。

また、2〜3人の施工管理技士が一つの現場を担当することで、残業時間の軽減を図ったり、全社員の残業時間を管理して残業の多い時には作業量の見直しを行っています。

現在、IT補助金を活用して人事評価制度システムの構築にも取り組んでいて、導入後は自己アピールも評価に反映されるようにして、社員の意欲に応えたいと考えています。

「人口減少ですます担い手不足が進むことになるが、社会インフラを支える建設業をなんとか継続していくために、技術や経験を途切れることのないように次の世代に受け継いでいくのは、私たちに与えられた大きな使命」と言う橋本社長。

そのためにも人材育成が課題となりますが、同社では受験料や交通費、講習参加費などをサポートして資格取得を奨励するほか、入社後間もない社員は近くの現場に配置したり、入社後3年はできるだけ残業をなくして、資格試験の勉強などに時間を割けるよう

インスタグラムなどを活用しながら建設業の魅力を発信しています。

ホームページやYouTubeで公開している採用動画は、広報・企画室の女性社員が中心となって制作したもので、会社案内というよりは施工管理の仕事がわかりやすく紹介されていて建設業のイメージアップにつながる内容になっています。

社内の意識改革にも取り組み、積極的にインターンシップを受け入れるほか、コミュニケーション能力の向上や多様性への理解をうながすために、中堅社員を対象にした研修を実施しています。「せっかく採用した若手社員がすぐ離職しないようには、受け入れる側の意識改革も必要。インターン



インターン受け入れ

にしています。

創業以来、地域に根ざした事業を展開してきた同社では、地域環境美化活動や地域の幼稚園・保育園や小学校の子どもたちを対象とした現場での体験教室など、CSR活動にも熱心に取り組んできました。

2019年には株式会社彦根麦酒を設立、市内の非農用地を有効活用するためクラフトビール醸造所を開設、彦根から新たな文化発信を目指しています。

今後は全社あげてSDGsへの取り組みを進め、自然環境に配慮した安心安全なまちづくりを通して、持続可能な社会の実現に貢献していくことをビジョンとして掲げています。



滋賀テックプラントに参加



現場見学会



橋本 健一代表取締役社長



住宅整備工事（長浜市祇園町）



高等学校グラウンド整備工事（人工芝）



採石事業（多賀町）



3Dレーザースキャナ実施の様子



自社でのドローン講習

夢けんプラザ絵画コンクールの審査も9回目となりました。今年もコロナ禍の影響が続いていますが、多くの応募作品のおかげで活動を継続することが出来ました。これも参加して下さった皆様や関係者の方々のご尽力によるものと感謝しております。

今回は、優しい色彩や緻密な描画といった繊細な表現が多かったように思いました。これもお家時間が長くなった影響なのかもしれません。また「小さい頃の思い出」や「これから残してほしい」といった具合に、この世界を懐かしんだり慈しむような作品のコメントが印象に残りました。「アートは社会を写す鏡」とよく言われますが、このような優しい眼差しで作品たちに心が救われる思いが致しました。現在も出口の見えない状況が続いていますが、次回は鮮やかで力強い作品にも出会うように、社会の状況が好転することを願っております。

# 第9回 『夢けんプラザ絵画コンクール』



次世代を担う子どもたちに向けて、建設産業の魅力を発信する目的でスタートした滋賀県建設業協会の「夢けんプラザ絵画コンクール」。安全で快適な暮らしを送るためのインフラ整備や、まちの豊かな環境の整備など、多くの役割を建設産業が担っていることや、その役割の大切さに関心を持ってもらい、子どもたちの豊かな感性や観察力、創造力を育むことを目的に開催される、県内の小中学生を対象とした絵画コンクールです。



第2部 小学校高学年の児童  
最優秀賞  
「未来の平和の塔」  
橋之浦 妃織

評 「未来の平和の塔」と題されたこの作品は、人型のロボットたちが何かを建設する様子が描かれていますが、平和の塔の全貌を描かないことで、謎が膨らむミステリアスな作品です。鑑賞者が物語を想像する楽しさや、未来への暗示が込められた、独創的な作品です。

第1部 小学校低学年の児童  
最優秀賞



①「工事ではたらく機械」  
あつらいいなと想像する未来の建設機械  
迫力ある建設機械

②「工事ではたらく人」  
工事を行っている未来の自分  
工事現場でがんばって働く人の様子  
思わず動きたくなるような、未来の建設現場

③「滋賀の建設物」  
滋賀の建物や町並み  
便利な生活を支え、災害から人々を守っている道路、橋、ダム

「がんばれ！ブルドーザー」  
五十嵐 朱理

評 画面いっぱい描かれたブルドーザーが圧巻の力作です。緻密に描かれた運転席やキャタピラの部分と、画面の4分の1を占める黄色いブルードと淡い空色の美しい対比など、とても見応えのある素敵な作品です。



「田上山ではたらく機械」  
浅田 遥



評 ダイナミックな能登川水車を、丁寧に貼り絵で繊細に表現した秀作です。



「動く恐竜ロボットの工事」  
梅田 大輔

評 有機的なフォルムと幾何学的なデザインによる質の高い恐竜ロボットの表現が、独自の世界観に説得力を与える力作です。



「真正面からうきみどう」  
石田 一陽



「なんでも重機」  
中野 陽葵

評 いろいろな機能を備えたアームが沢山ついている万能重機です。操縦者の視点がドリルの作業に向けられることで臨場感のある作品です。



「はたらくショベルカー」  
新庄 光明

評 形を捉えるのが難しいショベルカーを丁寧に描いた秀作です。手前と奥を描き分けることで奥行きのある表現になりました。



「ロードローラー」  
菅 穂泉



「夢の機械『フダシ』」  
田中 亮成



「エコに貢献！未来重機」  
木村 蒼



「僕の好きなダンプトラック」  
小倉 万弥



「こえんが出来るまで」  
北村 悠真



「おとうさんのショベルカー」  
大堀 琉輝



「永源寺総門から見る青もみじ」  
大西 佐和



「力持の機械」  
嶋田 篤広



「工事現場をのぞいてみたら」  
岸本 結娃



「大沙川すい道」  
前田 奈津



「彦根城」  
植村 優人



「ショベルカーとはたらくひと」  
西澤 吉星

最優秀賞

「パワーショベル」  
園林 優翔



評  
ダイナミックな縦構図によって手前から奥の空へと抜ける画面が心地よいです。また、輪郭線を抑えて色彩の違いを丁寧に描画することで、爽やかな空気感を表現しています。構図や色彩など随所に工夫が感じられる優秀な作品です。

優秀賞



「八幡堀」  
木原 佳苗

評  
色鉛筆の淡い色彩で空気感を演出しつつ、整ったハッチングで建物の存在感を表現した秀作です。



「田んぼに映った太郎坊宮」  
白井 ひなた

評  
実像と虚像の違いを丁寧に描き分けた力作です。絵を逆さまにしても作品の天地が反転しないのが努力の証です。



「玄宮園のお茶屋さん」  
若林 彩香

評  
細かな砂利や葉っぱの表現にこだわった繊細な表現です。茶店の赤や黒が柔らかな画面を引き締めています。



「働くオフロードダンプ」  
野村 聡太

入選



「大活躍のショベルカー」  
福永 龍星



「なつかしい自分」  
澤田 乃々葉



「浜大津の歩道橋」  
永田 新奈



「彦根城」  
栗田 悠生



「初夏の近江神宮」  
鈴木 友香

# 夢 Interview

## やりたいことを表現できる場所 地域の人が立ち寄れる場所づくりを目的に



昨年4月のオープニングにはたくさんの関係者が集まった

昨年4月にオープンした「TERAMACHI BASE(テラマチベース)」は、大津駅前商店街にある築100年の町家をリノベーションしたもので、シェアキッチンシアエ工房シアエオフィス、ショップが集まる複合施設です。大津の中心市街地を活性化させたいと、大津市職員有志4人がプロジェクトをスタートさせました。発起人で大津市都市魅力づくり推進課の藤原周二さんにお話をうかがいました。



表通りから路地をのぞくと、左手にシェアキッチン、奥にシェア工房が見える。



TERAMACHI BASE ●大津市末広町2-8  
●営業時間 10:00~18:00(店舗によって変動あり)  
※出店情報やイベント案内は、「TERAMACHI BASE」インスタ  
<https://www.instagram.com/teramachibase/> にアップされています。

●TERAMACHI BASE開設のきっかけは？  
普通、市役所は3~4年で異動があるのですが、まちづくりの課題は3年4年では解決できないため、個人の活動としてTERAMACHI BASEを開設することで、ずっとまちづくりに関わりたいのではないかと考えたからです。もう一つは、「どうせ大津で商売してもうまくいかない」といったネガティブなマインドを持っている人が多いんです。家賃もそこそこ高くて、チャレンジできる場所を提供したいということがありました。

●施設はどのような内容になっていますか。  
通りに面した店舗と路地奥の長屋の2棟で、店舗にはスケートボードのショップが入居していて、2階はシェアキッチンの飲食スペース、長屋は職人さんが活動するシアエ工房になっていて、その2階がシアエオフィスになっています。シアエキッチンを利用するのに正会員とスポット会員があって、正会員は家賃をもちつて、月に6~7日営業できるよう最低保証しています。空いている日はスポット会員が利用できるようにしていますが、人気が高くてほとんど埋まっている状態です。

●TERAMACHI BASEの狙いはどんなところにありますか。  
全体のコンセプトが「自分のやりたいことが表現できる場所」ということで、料理やアート、ピ



海外のスケートボードを中心に扱うスケートボードショップ「6(シックス)」



シアエ工房



シアエオフィス

ジネスなど自分のやりたいことを、ここで表現してもらおうという狙いがあります。その後は近くの空いている物件に移って自分の店を持つとか、終わりではなくここがスタートで、そこからステップアップしてほしいと思っています。

●オープンから1年経ってどのような手応えがありましたか。  
始める前は、若い人たちが来る場所になると思っていました。スタートしてみると地域の人、年配の方や子育て世代などいろいろな世代の人に足を運んでいただいています。大津以外からインシヨンに移り住んできた人たちに、地元で自分たちの居場所を見つけてほしいと思っていたので、気軽に立ち寄れる場所として使ってもらえるようになってくることにも手応えを感じています。

●見えてきた課題はありますか。  
「テラマチベースに行ったらいつも新しいことしてる」「みたいな期待感に思えられているか」というと、まだそこまでいけてないのかなと思います。期待を裏切れない施設として、もう少しイベントとか仕掛けができたらいかなと思っています。もっと認知度を高めて、ここで表現したい人、興味を持って来てくれる人を増やしていきたいです。

●空き町家の活用が進まないのは、どんなところが要因があると思われますか。  
古い町家を維持管理していくのは結構たいへんで、解体して駐車場にして、また買った土地になら



TERAMACHI BASE 発起人 藤原周二さん

たらマンションなどの用地として売却するほうが不動産投資的にはメリットが多く、古い住宅を活用するというのが浸透していくのかもしれない。まちのことを考えてくれるオーナーさんと相対でじっくりやりたいという思いでやってきたので、暇があれば町に足を運んで空き町屋や店舗を探しては、周辺の人に聴き込んでオーナーさんを探したりしています。

●使われていない物件はぜひぶんあるように思うのですが…  
空き物件はたくさんありますが、活用させてもらえる物件は少ないんです。とはいえ、古い町屋に新しい価値を付加して活用することにご賛同いただけるオーナーさんも少なからずおられます。テラマチベースもそうですが、理解あるオーナーさんがおられたら、物件をどう活用するか一緒に考えて、「こんなことをしたい」と相談を受けている人とのマッチングを進めます。

●空き町家にはどんな可能性があると考えておられますか。  
「コナ禍でいろいろ制約がある中で、自分たちが住んでる町に目を向ける人が増え始めています。例えば子育て中のお母さんが集まれる場所であったり、高齢者のサロンだったり、地域の人が町に出て過せる場所として、もっと空き町屋を活用していけるのではと思います。

「買い物をする」とか「食事をする」だけでなく、ちよつと立ち寄り、人と会うたり、休憩したり、仕事をしたりといういろいろな使い方ができる、半パブリックな空間をもっと作る事ができたらいいなと思います。

## リクルートキャラバンが出前授業と現場見学会を実施

10月7日(木)、リクルートキャラバンによる彦根工業高校1年生を対象とした出前授業を行いました。1年生のうちから進路、就職について考える機会を与えたいという同校からの要請に応えたもので、リクルートキャラバンのメンバーが、建設に関する事柄について分かりやすく説明を行いました。

また12月16日(木)には、滋賀県立長浜農業高校の2年生38名を対象に、出前授業と現場見学会を開催しました。リクルートキャラバンによる出前授業では、話題のアニメやゲームなど若者になじみのある題材を交えながら、建設業界に関する情報を共有できるようにしました。その後、彦根市内の街路工事現場を見学し、工事の概要や進捗状況の説明や建設に関するクイズのほか、工事排水の浄化実験等を体験していただきました。



## 滋賀けんせつみらいフェスタ2021を開催

令和3年11月6日(土)、大津港において、滋賀県建設産業魅力アップ実行委員会の主催で、建設産業の魅力を発信する『滋賀けんせつみらいフェスタ2021』が開催されました。コロナ禍の中、感染防止対策を行いながらの開催となりましたが、官公庁及び建設産業団体連合会加盟団体を中心に35ブースが出展。ステージでは滋賀県の若手・女性技術者表彰、作文コンクール・フォトコンテスト入賞表彰のほか、滋賀大学附属中学校音楽班による吹奏楽演奏、木下光希さんによるジャグリングステージ、高取チェーンソークラブによるチェーンソーアート、大津ジャズフェスティバルとのコラボ企画としてゆいlele、琴乃&由佳の二組によるジャズコンサートが行われ、約3,000名のお客様にご来場いただき、盛況のうちに無事閉幕しました。

たくさんのご来場、ありがとうございました。



滋賀県建設業協会の活動についてご紹介するコーナーです。協会広報委員会のフェイスブックもあわせてご覧ください。

# 夢けんひろば

## 夢けんプラザ絵画コンクール審査会と表彰式

『第9回夢けんプラザ絵画コンクール』の審査会が、令和3年9月21日(火)に行われました。応募総数699点の中から、第1部(小学校低学年)、第2部(小学校高学年)、第3部(中学生)より、それぞれ最優秀賞1点、優秀賞3点、入選6点の計30点が選ばれました。

各最優秀作品については、下記の日程で各学校を訪問して、表彰式を執り行いました。

- 第1部 近江八幡市立金田小学校 令和3年12月3日(金)
- 第2部 野洲市立北野小学校 令和3年12月22日(水)
- 第3部 東近江市立能登川中学校 令和3年11月30日(火)



## 豚熱防疫活動を実施

令和3年10月6日(水)に近江八幡市の養豚場で確認された豚熱の防疫対応を行うため、滋賀県との協定に基づき協会本部に「豚熱に伴う特定家畜伝染病対策本部」を立ち上げました。

現地では、東近江支部が昼夜を問わず防疫活動に取り組み、10月10日(日)に防疫措置が完了しました。

12月13日(月)には豚熱の感染拡大の防止、事態の早期収拾に貢献したとして、協会本部において東近江支部の奥支部長に、桑原会長より感謝状が贈呈されました。同日には防疫措置に協力いただいた滋賀建機株式会社を谷副会長が訪れ、蔭山社長に感謝状を贈呈しました。また、令和4年3月24日(木)には、滋賀県農政水産部長から、協会本部ならびに東近江支部に対して感謝状を贈呈していただきました。





# 地域住民が立ち上がり再生した 住民のためのスーパーマーケット

i-mart  
(あいのまち合同会社)



代表社員の藤岡明雄さん

東近江市市ヶ原街108-2  
0749-46-0466  
営業時間 9:00~19:00 (日曜日~17:30)  
定休日 不定期

2020年12月にあいのまち合同会社を設立、会議の代表を務めた藤岡明雄さんが代表に就任して、閉店したスーパーの設備の入れ替えや改装工事を行うことになり、自分たちでできる壁のペンキ塗りなどは住民ボランティアを募って改装に協力しました。

店名も地元住民から公募し、「私の店、愛東の店、愛される店」という意味を込めた「i-mart (あい・まーと)」が採用され、2021年5月の開店を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などにより準備が遅れて、8月27日のオープンとなりました。

新店舗は店内に多機能トイレを設けたほか、コミュニケーションスペースを開設して、イートイン

### 集落をまわる移動販売も

2005年に東近江市と合併した時は約5600人だった人口が、約4500人に減った旧愛東地区。2019年に地区唯一のスーパーマーケットが、経営者の高齢化や後継者不足で閉店することになり、車に乗れない高齢者などから買い物難民になるのではと心配する声がありました。

その声を受けて同年10月に、住民有志が「愛東の暮らし・つながり創造会議」を立ち上げ、スーパーの再生に向けて活動をスタートさせました。目指したのは「住民の住民による住民のための店づくり」。住民や地元企業から800万円以上の寄付が集まったほか、金融公庫の借入れや「東近江三方よし基金融資制度」、新型コロナウイルス対応支援緊急助成金などで、再生に必要な資金を調達、住民の中から選ばれた16名のメンバーがミーティングのほか、先進地スーパーの視察研修などを行うことで経営ノウハウを学び、再生に向けて協議を重ねました。

2020年12月にあいのまち合同会社を設立、会議の代表を務めた藤岡明雄さんが代表に就任して、閉店したスーパーの設備の入れ替えや改装工事を行うことになり、自分たちでできる壁のペンキ塗りなどは住民ボランティアを募って改装に協力しました。

店名も地元住民から公募し、「私の店、愛東の店、愛される店」という意味を込めた「i-mart (あい・まーと)」が採用され、2021年5月の開店を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などにより準備が遅れて、8月27日のオープンとなりました。

新店舗は店内に多機能トイレを設けたほか、コミュニケーションスペースを開設して、イートイン

### 地域の安定を図り、 地域ならではの店舗を目指して

かつて大手スーパーで勤務していた藤岡さんによると、「安定的な売上を確保しながら、食品廃棄などを抑えて利益率を上げることが課題」で、在庫管理を徹底して、生鮮食品を惣菜などの加工品に無駄なく利用することで、

スペースや住民同士の交流スペースなどに活用してもらえるようになっています。

地域のミニスーパーや個人商店の経営者からなる日本最大のボランティアチェーン「全日食チエーン」に加盟したことで、大型店と変わらない価格で商品を販売できるようになりました。店内で調理される惣菜や弁当は、手づくりを打ち出し、人気が高く、店舗周辺の企業の従業員にも好評とのこと。

地域内の23集落をまわる移動販売車を導入して、週に1度決まった時間に決まった場所に出向いて、食品や日用品などを販売するほか、寄贈された電動スクーターを使って、1回100円で商品の配送も行っています。



移動販売



手づくり弁当



コミュニティスペース

「地域住民に親しまれる店」「子どもが行きたがる店」づくりを目標に、日曜日には綿菓子や焼き芋のイベントを行ったり、正月前には餅つき大会を開催するほか、土曜日限定で販売する地元の材料を使った「あいマートバーガー」を販売しています。

今後は不用品交換会などのイベントを開催していきたいという藤岡さん。人が集まり交流する仕掛けや話題づくりを行いながら、地域になくてはならない店づくりをしていきたいと考えています。

また、既存のスーパーマーケットにはないものを強みにしたいと、コミュニケーションスペースを活用した健康教室をスタートするほか、「ママ友会など若い人にも来店してもらえよう工夫していきたい」と藤岡さんは考えています。

食品廃棄を減らすほか、利益率の高い弁当や惣菜などにさらに力を入れて、売れ筋商品の開発などに取り組むことが今後の改善点になっています。移動販売も従来の集落だけでなく、地域の企業や大学、高齢者施設などもルートに入れて、新しい顧客の開拓にも取り組んでいきたいと考えています。



あいマートバーガー



餅つきイベント



小学校見学

## 大雪による除雪作業に対応

令和3年12月26日(日)頃から、数年に一度と言われる強い寒気の影響で、日本海側を中心に大雪となり、滋賀県の彦根市や米原市、長浜市、高島市でも記録的な大雪となりました。

また、令和4年2月5日(土)から6日(日)にかけても湖北を中心に大雪となりました。

これを受けて本協会の会員企業は、夜が明ける前から現場に出動して、重機による道路等の除雪作業に従事しました。



## 彦根工業高校3年の石田さんが 技士補のトリプル取得を達成

## 夢けん トピックス TOPICS

滋賀県立彦根工業高等学校建設科3年の石田悠翔さんが、2級土木施工管理技士、2級建築施工管理技士、2級管工事施工管理技士の第1次検定に合格し、現役高校生では全国的にもめずらしい技士補のトリプル取得を達成しました。



受験資格の17歳になった昨年6月、前期試験で建築と土木をダブル受験、さらに11月の後期試験で管工事にチャレンジし、見事すべての試験に合格した石田さん。「基礎的なことは授業で習っていたので、特に難しいことはなかった」と言う石田さんですが、学校から勧められたテキストを使って独学で試験勉強に取り組み、試験直前には1日6~8時間を勉強に割いて本番に臨みました。

石田さんの実家は工務店で、曾祖父さんの代から家づくりに携わってきたこともあって、将来は家業を継ぎたいという思いから、県内に唯一建設科のある彦根工業高校に進学を決意しました。

石田さんを指導してきた建設科主任の瀬戸亮太郎先生は、「学業だけでなく、学校の行事にも積極的に参



加して、チームで作品づくりに取り組むなど、クラスメートからの信頼も厚い」と評価します。昨年は大学主催の設計コンペにも応募して、『災害後も暮らし続ける家』で、全国高等学校・建築設計競技の奨励賞を受賞しました。



卒業後は福井工業大学の建築土木工学科への進学が決まっているようですが、大学在学中に2級建築士の資格取得を目指すほか、インテリアコーディネーターや福祉住環境コーディネーターなどさまざまな資格試験にチャレンジしたいと語ります。

そして将来は、「自然素材をできるだけ使った暮らす人にも環境にも優しく、災害に強い木造住宅の設計施工をしたい」と、夢を描いています。

パズル&クイズ当選者

- 浅野 翔子さん
- 早川 博明さん
- 奥村 昇一さん
- 杉江ミサ子さん
- 大谷 美幸さん
- 横井 秀子さん
- 馬場ますみさん
- 仲川 良雄さん
- 久田 政二さん
- 岩坂 慎也さん

応募方法

- P&Q及びアンケート(返信用添付ハガキ)の両方にお答えいただいた方の中から抽選により粗品を進呈します。ふるって応募ください。
- 別のハガキにてご応募の方も住所、勤務先(学校名)、氏名及びP&Qの答え、アンケート、メッセージ等を書いて送付してください。
- 締め切り 令和4年6月20日必着
- あて先 〒520-0801 大津市におの浜一丁目1-18 (-)滋賀県建設業協会 広報委員会

取材 ぼれ話



今回は「働き方改革」をテーマに、協会に加盟していただける3つの会社を取材させていただきました。建設業はいろいろな事情があってなかなか改革が進まないと言われるなか、それぞれに知恵を絞って業務の効率化や女性社員の採用・活用に取り組んでおられることをご紹介いただきました。

株式会社大兼工務店では取材の後、管理部の福永さんと浮氣さんに社内を案内していただきました。無駄なものを一切なくして、必要なものが一目見てどこにあるかわかるように、整理と収納されていたり、石けんや消毒液は「ここ」、ティッシュは「ここ」とマーキングして置く位置を決めるなど、整理整頓の徹底ぶりにただただ感心するばかり。

「いつもここまではできない」とその時は思いましたが、よくよく考えてみると、社員全員が本気で取り組んだらできそうなことを、「コツコツと根気よく継続してこられた結果ではないか」と思い至りました。働き方改革は制度ではなく、働く人間が変わることではないか、みんなが本気で取り組むことが大切ではないかと思っただけです。

自分を振り返ってみれば、今までやってきたことを変えるとか、新しいやり方を取り入れるというところ、新しい億劫になって、「ま、このままでもいいか」と思ってしまうがちです。まず自分が変わらなければ、このままズルと非効率に仕事をして時間に追われるばかりではないか、といたく反省して、これを機会にやめること、新しく取り入れることを見直してみようと思っています。

ではありますが、ここ2、3週間は締切に追われて毎日真夜中まで仕事をして、昼間は激しい睡眠に襲われ、情けないことに毎日のように「アシがない、コレがない」とモノ探しをしています。本気で仕事のやり方を見直さないといいにくいですね。

季刊夢けんせつ春号

2022年(令和4年)4月10日

通巻第695号

発行 一般社団法人滋賀県建設業協会

〒520-0801 大津市におの浜一丁目1-18

TEL.077-522-3232(代)

FAX.077-522-7743

https://www.yumeken.or.jp

企画編集 広報委員会

協力・印刷 富川印刷株式会社

フォトコンテストの写真がどれも素晴らしかったです。グランプリの作業をされてる方々の笑顔がとて素晴らしいと思いました。

VOICE

読者の声

スクラップ&ビルドとか知らないことが多く、特集は大変勉強になりました。写真付きの説明で非常にわかりやすかったです。

来月、コンクリート技士およびコンクリート主任技士の資格試験があるため、その確認として「コンクリートの豆知識」は良い問題でした。

今年も局地的な大雪に見舞われ、寒さも厳しい冬となりました。その分、ぼかぼか陽気の春が待ち遠しく感じられます。さて、今回は特集で働き方改革に積極的に取り組んでおられる会社さんへ取材にいきました。

仕事への取り組みはもちろんですが、事務所内の資料等、だれが見てもわかりやすくすることで、探すという無駄な時間を省く整理整頓には感動しました。

自分の職場でも、自宅でも、見習い実行したいと思いました。

After Word



小さい頃から体を動かすことが大好きで、学生の時はサッカー、中学では野球、高校・大学とアメリカンフットボールをやっていました。今はもう大きくなりましたが、2人の息子も小学校から高校までサッカーをやっていて、練習や試合の送り迎えなど、親のほうも熱くなっていた時期があります。日曜日はほぼ毎週試合があって、それを見に行くのも楽しみでした。今は仕事が忙しいので、休日にジョギングするのを楽しみにしています。アメフトをやっていた時はランニングバックで、ボールを持って走って攻め込むポジションだったのですが、走るのは今も得意です。ジョギングはだいたい10キロくらい、ちょっとした山のアップダウンのあるところを走っています。今でも、息子と競争しても負けないくらい走れると自負しています。



止田家のクロネキ

これから何か長く楽しめる趣味を見つけないと思っています。一番やってみたいのはゴルフです。打ちっぱなしには行ってますが、いつか本格的にコースに出てみたいと思っています。

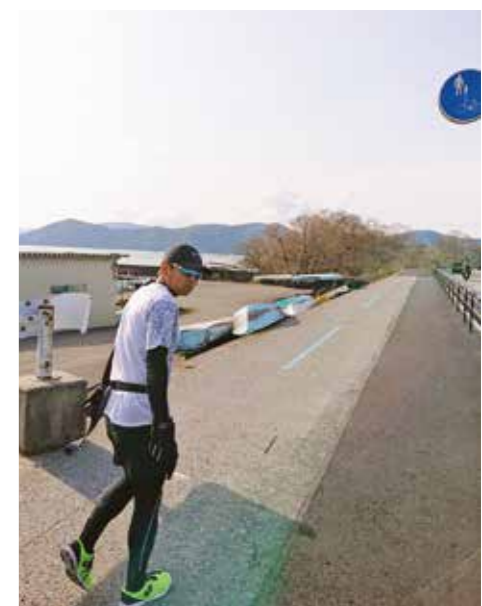
あと、新型コロナウイルスが収まったら、旅行にも行きたいと思っています。ちょっと妻と沖繩に行こうという計画していた時に感染が広がり始めて、そのままになっています。まずは沖繩から実現できればいいなと思います。

普段はテレビで野球やサッカーなど、スポーツを観戦するのが楽しみです。夜中にやってくるアメフトもよく観ています。それから自宅に猫が2匹いて、仕事が忙しくて疲れた時には癒してもらっています(笑)。

仕事の達人、遊びの達人 私のオフタイム

スポーツに親しんだ学生時代 今はジョギングでストレス解消

株式会社ステップ 山田 幸弘



休日はジョギングでストレス解消



コースに出る日に備えて打ちっぱなしでトレーニング

- ① 早起きは三文の◎
- ② 〇の上にも三年
- ③ 海老で◎を釣る
- ④ 鬼に◎ぼう
- ⑤ あぶ◎とらさず
- ⑥ 親の心子◎
- ⑦ 猿も◎から落ちる
- ⑧ ◎からぼた餅
- ⑨ ◎◎に説法
- ⑩ ◎◎に釘



パズル クイズ

ことわざ穴埋めクイズ  
おなじみのことわざの空欄をかな文字で埋めてください。  
ヒント 特集「話題の焦点」を並べ替えること...



一般社団法人 滋賀県建設業協会  
[www.yumeken.or.jp](http://www.yumeken.or.jp)